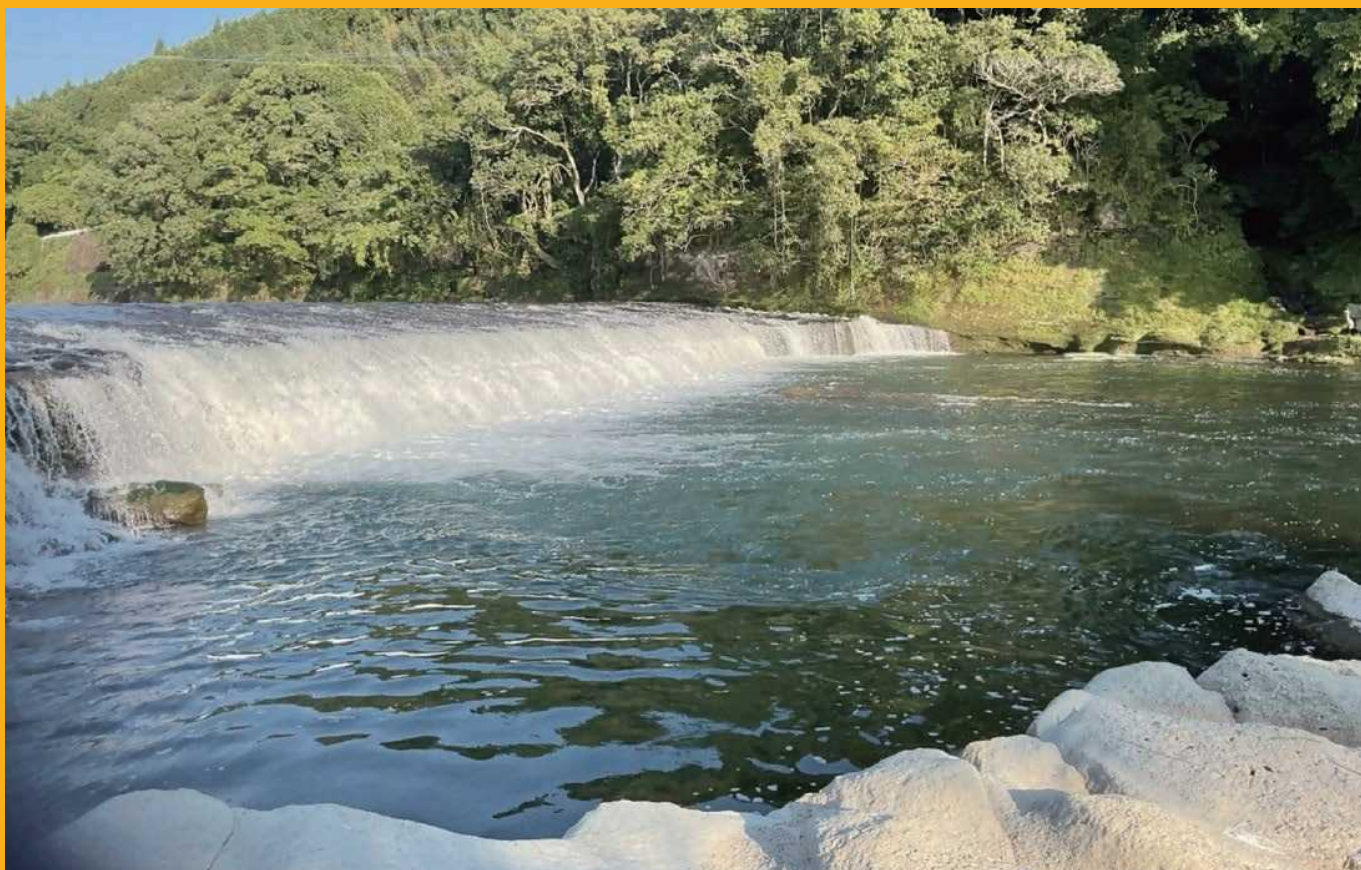


お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.186 令和6年11月1日



P2 : 9月定例会（決算・補正予算）

P8 : 一般質問

P16 : 委員会活動報告

P20 : まちの声（インタビュー）

黒木町の矢部川と
鮎（アユ）祭りの様子

9月定例会は、8月28日から9月19日までの23日間の会期で開催しました。

市長から一般会計補正予算や条例改正、下水道事業会計、人事、令和5年度決算認定（一般会計、特別会計、水道・下水道事業会計）などが提案され、いずれも原案どおり可決・承認・認定しました。

◆一般会計決算の状況

令和5年度の一般会計の歳入は、480億2156万円、歳出は465億370万円となり、いずれも前年度と比べて増額し、差引額は15億1786万円となりました。

◆黒字決算の主な理由は

歳入面では、固定資産税やふるさと支援寄附金が見込みを上回ったこと、歳出面では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費や令和2年7月豪雨・令和3年8月豪雨災害復旧事業費が減少したことによるものです。

◆黒字決算で基金に積み立て

歳入歳出差引額から令和6年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支額は11億5856万円となり、この中から1億1600万円が財政調整基金（貯金）に積み立てられています。

令和5年度一般会計決算状況

歳入総額 480億2156万円
前年度比6.8%増

歳出総額 465億370万円
前年度比8.3%増

差引額 15億1786万円

令和6年度への繰越額 3億5930万円

実質収支額 11億5856万円

（決算状況及び記事の金額は四捨五入）



◆財政指標でみると…

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は93.1%（令和4年度91.4%）と上昇しました。

◆経常収支比率

令和5年度は **93.1%**

※経常収支比率

財政の弾力性を示す指標で、比率が高くなれば市の独自事業の抑制等が懸念される。

◆実質公債費比率（3ヵ年平均）

令和5年度は **7.9%**

早期健全化基準は25.0%（基準値）

※早期健全化基準

財政健全化法に規定された基準で、基準値を超えた場合は、財政の健全化が求められる。

◆財政健全化法に基づく結果は…

借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率（3ヵ年平均値）は7.9%（令和4年度8.5%）で前年度より0.6ポイント減少しています。早期健全化基準の25.0%を大きく下回っていますが、今後も厳しい財政事情が見込まれるなか、継続して維持する努力が望まれています。

このほかの財政健全化法に基づく指標からも、市の財政は良好な状況と認められています。

決算審査特別委員会で決算状況をチェック!

審査の結果、令和5年度一般会計決算額465億370万円を認定

議長を除く21人で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。
議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算が執行されたのか、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証・審査するため、分科会（各常任委員会）で審査にあたりました。

◆決算審査の流れ

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
＜本会議＞	＜全体会＞	＜分科会＞	＜全体会＞	＜本会議＞
議案の提出後 全体会に付託	各分科会の設置 審査の確認	市の説明後、質疑・審査 ※総務文教・厚生・建設経済分科会で審議	各分科会報告 ↓ 全体質疑 ↓ 討論・採決	委員長報告 ↓ 質疑 ↓ 討論・採決

◆審査の結果(委員長報告)

〔認定第1号〕令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定は、一般会計は厚生分科会から1件の指摘事項がありました。特別会計は各分科会からの指摘事項はありませんでした。討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認めることに決しました。〔認定第2号〕令和5年度八女市水道事業会計決算認定〔認定第3号〕令和5年度八女市下水道事業会計決算認定については、指摘事項はありませんでした。採決の結果、全会一致で認めることに決しました。

◆認定第1号の指摘事項

電気・ガス・食料品等価格高騰対策低所得世帯支援給付金給付事業については、低所得世帯（住民税非課税世帯）への生活支援を行うことが目的の事業ですが、受給資格があるにも関わらず支給されていない世帯がありました。受給資格が確認できている世帯への申請案内には、よりきめ細やかな対応をすべきです。

◆議会での討論

賛成討論

決算額は黒字であり、各種事業等を効果的に取り組んでいることを評価する。また、介護保険事業については、今後、後期高齢者の増加が見込まれ、厳しい状況が続くと推測されるが、適正に管理していただきたい。

川口 堅志

反対討論

国民健康保険税の差し押さえは悪質滞納者に限定し、法に基づく納税緩和策を適切に対応するよう求める。また、マイナンバーカードの保険証ひもづけに伴う紙の保険証廃止の中止や延期を求める。

森 茂生

一般会計補正予算を可決

一般会計に7億3352万7千円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。
補正予算の主な事業は、以下のとおりです。(事業費等の金額は1万円未満切り捨て)

新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種を実施

■補正額：7855万円

- ◆実施期間：令和6年度秋冬期予定
- ◆自己負担額：非課税世帯0円、課税世帯3000円
- ◆対象者：65歳以上の者、60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者等（任意）



消防関係施設設備等整備事業

矢部地区に耐震性貯水槽を設置し、消火活動の強化を図る

■補正額：1760万円

- ◆耐震性貯水槽を2カ所設置する。貯水槽を設置することで、消防水利を確保し、初期及び早期の消火活動につなげる。

県営中山間地域総合整備事業

農業生産基盤等を整備するための調査費用を確保

■補正額：1056万円

- ◆中山間地域の農業活性化を目的とし、水門整備、農業用排水路整備、農道整備、営農飲雑用水を行う事業。今回の補正では、計画推進調査に要する費用を補正する。



ふるさと支援寄附事業

増加傾向のふるさと支援寄附、返礼品等の経費を確保

■補正額：6億1250万円

- ◆過去の寄附実績や今年度の寄附実績を加味し、寄附の受け入れ額を基金に積み立てる費用や返礼品調達費、寄附申し込みサイト使用料等の経費を増額する。



不登校対策校内支援充実事業

不登校対策の充実と教員の働き方改革を図る

■補正額：129万円

- ◆不登校兆候の児童に対するアプローチのプロセスを示し、不登校対策を小学校の段階で早期に行い、不登校児童の率を減少させるために不登校児童支援員を導入する。



農業振興事業費補助事業

地域農業の担い手を確保する

■補正額：55万円

- ◆農業研修生及び研修生を受け入れる農業者等に経費の助成を行い研修を促進することにより、新規就農者の安定した経営開始を支援する。



みんなで徹底しよう『三ない運動』

政治家は有権者に寄附を

贈らない!



有権者は政治家に寄附を

求めない!



政治家から有権者への寄附は

受け取らない!



選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは禁止されています。有権者が求めてもいけません。

冠婚葬祭における贈答やお歳暮・お中元なども寄附に当たるので、注意してください。年賀状や暑中見舞い状などの時候のあいさつを出すことも「答礼のための自筆によるもの」を除き禁止されています。

審査した主なもの

総務文教常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・消防関係施設設備等整備事業……………1760万円
- ・小学校器具購入費……………107万円
- ・不登校対策校内支援充実事業……………129万円
- ・学びの館維持管理事業……………66万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【賛成多数で認定】

厚生常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業……………7855万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【賛成多数で認定】

建設経済常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・ふるさと支援寄附事業……………6億1250万円
- ・農業振興事業費補助事業……………55万円
- ・県補助畜産振興事業……………172万円
- ・県営中山間地域総合整備事業……………1056万円
- ・農地地すべり対策事業……………900万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【全会一致で認定】
- 令和5年度八女市水道事業会計決算認定……………【全会一致で認定】
- 令和5年度八女市下水道事業会計決算認定……………【全会一致で認定】

総務文教常任委員会・分科会で審査

不登校対策校内支援 充実事業

問 何年間の事業を予定しているのか。

答 県としては3年間を予定している。と聞いている。

問 学校の教員の充実が来ていないことが不登校の原因となっているのか。

答 不登校の理由はそれぞれのケースごとにある。学校によつては、教育支援センターの役割を果たす別室

登校用の部屋を準備しているところもある。部屋にはいつだれが来ても良いように教員が常駐するのが最善ではあるが、教員が定数配置されている学校でさえもそこまでの余裕はない。この事業により対応できる教員が増えることとなる。

庁舎建設事業

問 旧庁舎の解体工事にお

いて、アスベストの除去に時間を要するため、工期を延長するということだが予測できたことではないのか。

答 令和3年度以降、段階的に法令が厳しくなり、設計時より複雑で高度な対応が必要となったため、工期延長の見込みとなった。

消防関係施設設備等 整備事業

問 耐震性貯水槽はどこに設置するのか。

答 奥矢部別邸やべのりの駐車場内及び殊正寺地区の集落内に設置する。



厚生常任委員会・分科会で審査

新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

問 接種勧奨は行うのか。

答 B類疾病となり重症化予防が目的の予防接種のため、接種勧奨は行わない。制度を周知し、希望者が接種できる体制を整えていく。

問 接種の期限はあるのか。

答 国の予防接種法で10月1日～3月末のうち、自治体の定める期間となる。ワクチンの出回る時期にもよるが、10月初旬からの実施を予定している。

問 ワクチンの種類は。

答 国に申請している5社のうち、モデルナ社、ファイザー社、第一三共社の3社は流通までの承認が完了している。市からの指定はせず、個々の実施医療機関で決定する。

令和5年度八女市各会計

歳入歳出決算認定

ひきこもり支援推進事業

問 精神対話士の活動内容は。

答 月2回、ほっと館やめで無料相談を行っていている。相談件数は72件であった。

清掃総務事業

問 プラスチックごみの資源化についての考えは。

答 筑後市や大木町が実施しているが、市では分別方法などの課題について、広川町や県とも検討委員会を開き検討している。



建設経済常任委員会・分科会で審査

県営中山間地域総合

整備事業

問 事業の概要と奥八女西部地区とはどのような地域か。

答 奥八女西部地区とは黒木地区と立花地区である。事業の概要は黒木地区が農道整備3カ所、水路整備2カ所、立花地区が農道整備1カ所、水路整備2カ所、水門整備8カ所、営農飲雑用水1カ所、合計17カ所である。

問 行政区での道路河川愛護活動は限界がきている。今後の市の考えは。

答 道路河川愛護活動や市の発注工事での対応にも限界を感じており根本的な見直しが必要と考えている。市が道路管理者として行う場合、財政面の課題もある。



来年度の予算要求に向け報奨金制度を見直したい。

令和5年度八女市各会計

歳入歳出決算認定

交通安全施設費

問 冬場にカーブミラーが霜で見えない箇所を多く見かけるが調査はしているのか。

答 各支所と連携し危険箇所の把握を行なっている。蓄熱式カーブミラーの設置も念頭に置き予算要求につなげていきたい。

ここが聞きたい！一般質問

一般質問ってなに？

議員が市に対して、市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取り組みを市民に明らかにします。

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。ここに掲載できない質問答弁や過去の各議員の一般質問は、八女市議会ホームページ等をご覧ください。

(データ通信料は利用者負担となります。)



質問者	質問事項	質問者	質問事項
栗原 吉平	1 行政区の現状と今後について 2 民生委員の現状について 3 観光施策について	川口 堅志	1 公共施設の今後の取組について 2 斎場の建て直しについて
三角 真弓	1 行政職としての保健師の役割について 2 市民の疾病予防と健康づくりについて 3 日常生活に必要な不可欠な移動手段の確保について	花下 主茂	1 八女市のDX推進について 2 一般国道3号広川八女バイパスについて
牛島 孝之	1 合併15周年の現在及び今後について 2 八女市の教育問題について	高橋 信広	1 健康寿命の延伸について 2 可燃ごみの分別について
原田 英雄	1 頻発する自然災害への備えについて 2 指定管理者制度の運用について	古賀 邦彦	1 災害対策について 2 子育て支援について
水町 典子	1 災害等非常事態下における停電対策について 2 自転車走行時のマナー向上と安全確保について	高山 正信	1 ドローンの利活用について 2 立花町光友地区のまちづくり(土地利活用)について
石橋 義博	1 人口減少と対策について 2 経済対策について	坂本 治郎	1 地域おこし協力隊制度について 2 まちのコインについて
		森 茂生	1 年金制度について 2 情報漏えいについて 3 学校教育について

民生委員・児童委員と主任児童委員の現状と課題対策について

市長 多様化と社会の変化に応じ協議会を通じ負担の軽減に取り組む

映像配信
サイト



栗原吉平
くりはらきちへい

自治会の現状と課題 議員 中心地域は人口増、東部は減という状況で、地域の行事への参加も減っている。役員等の担い手不足をどう考えるのか。

市長 行政区の役員等と意見交換会を開催し、地域と行政が一緒になって対策を検討している。

民生委員について 議員 社会福祉のために幅の広い活動をされている民生委員・児童委員の定数と訪問数は。

観光入込客推計推移

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
観光入込客数	2,061	2,019	1,990	1,192	1,047	1,604	1,884
観光消費額	3,332	3,308	3,290	2,159	2,071	3,134	3,450

※観光入込客数の単位は千人
※観光消費額の単位は百万円

課長 民生委員・児童委員と主任児童委員の合計212人をお願いしている。一人につき平均で月に18件ほど訪問いただいている。

議員 広域的な市内の課題解決として、民生委員・児童委員にタブレットを配布し、仕事の効率化と負担軽減を図る必要があるのでは。

部長 活動の負担軽減と効率化は重要な課題と考えている。DX推進という面からも協議会等と協議し活用方法等を研究したい。

観光施策について 議員 国内旅行もインバウンドも増えているが、今後の市の方向性は。

課長 来訪者のニーズ分析を行い、旅行商品の開発や受け入れ体制の整備を行う。

新庁舎と新市長に八女市の発展を熱望する。

複雑・深刻化する地域課題解決には、行政保健師の役割が大きいのでは

市長 専門職の人材育成や情報共有体制の充実強化に努める

映像配信
サイト



三隅真弓
みすみまゆみ

議員 令和5年度の八女市の出生数は357人で、産後ケアの実態はどうか。

課長 全ての出産された方々に訪問調査を行なっている。

議員 虐待・貧困・ヤングケアラーの現状と課題は把握しているのか。

課長 虐待問題は、こども相談室が対応窓口になっている。ヤングケアラーは学校との協議で把握に努めている。

議員 直近3年間の平均で国民健康保険料は一人あたり1万3千800円、後期高齢者医療保険料では2万7千600円値上がりをしている。医療費削減のための健診受診向上の検討が必要ではないか。

課長 健康寿命の延伸のために介護予防事業を展開している。

議員 子宮頸がん予防ワクチン接種の対象者への通知は。

市長 対象者接種案内を年度初めに送付している。現状と課題は。誰一人も取り残さない移動手段になっているのか。

市長 地域間の移動を路線バス、地域内の移動をふる里タクシーが担っている。変化を踏まえた体系の整備、事業者や運転手の確保などの課題がある。



市民の生活のため何でも話せる家庭訪問こそ行政保健師の役割と期待！

※子宮頸がん予防ワクチン平成9年度生まれ、平成19年（誕生日が平成9年4月2日）平成20年4月1日

合併15周年になるが、市長の言われる 均衡なる発展ができたのか

市長 八女市全体としてまとまりのあるまちづくりに
努めてきた

映像配信
サイト



牛島 孝之
うしじま たかゆき

市長 均衡なる発展というのは、人口減少だけの問題ではない。経済的な関係、あるいは観光等、様々な角度で今日まで努力をしている。

議員 公立八女総合病院について、話し合いはできているのか。

市長 公立八女総合病院を、筑後市、八女市、広

議員 市長が市制70周年・合併15周年の式典の中で、均衡なる発展という発言をされたが、各旧町村の人口の減り方、あるいは出生数を見て、均衡なる発展がなされたと言えるのか。

令和5年の各市町村毎の出生数

旧市町村名	R5
八女市	357
旧八女市	288
旧上陽町	4
旧黒木町	30
旧立花町	24
旧矢部村	1
旧星野村	10

合併前の各市町村毎の人口
及び現在の各市町村毎の人口

旧市町村名	合併前	H22	R6	増減数 (合併前比)	増減率 (合併前比)
八女市	71,014	70,671	59,835	-11,179	-15.74%
旧八女市	38,269	38,135	37,720	-549	-1.43%
旧上陽町	3,709	3,686	2,388	-1,321	-35.62%
旧黒木町	12,876	12,803	8,886	-3,990	-30.99%
旧立花町	11,290	11,227	7,909	-3,381	-29.95%
旧矢部村	1,581	1,551	873	-708	-44.78%
旧星野村	3,289	3,269	2,059	-1,230	-37.40%

川町の医療圏の中核とし、なおかつ高度医療ができるようにする。そして、久留米大学も、この医療圏を中核として、2市1町の住民を守っていくという考えに間違いはないが、広川町と筑後市とも意見の一致ができていない部分もある。

議員 公立八女総合病院について、市民に説明会等で説明するべきではないか。

市長 筑後市も広川町も、基本的な考えがまとまれば、市民に説明することは必要だろうと思うている。

河川内の倒木撤去、堆積物除去、 護岸整備等の進捗状況はいかに

市長 緊急性の高い箇所から順次整備し、流下能力向上に努めている

映像配信
サイト



原田 英雄
はらだ ひでお

議員 八女市耐震改修促進計画を策定した経緯、目的は何か。

室長 平成7年に発生した阪神・淡路大震災を踏まえ、建築物の耐震改修の促進に関する法律が制定された。本市では、地震から市民の生命、身体及び財産を保護するため、耐震診断や改修を促進する目的で平成26年2月に同計画を策定した。

議員 新庁舎は免震構造と聞いているが、他の公

共施設の耐震化はいかに。

課長 全体の約8割が新耐震基準及び耐震化済みである。

議員 未だ耐震化されていない特定建築物施設の整備はどうするのか。

教育長 八女総合体育館は指定避難所でもあり、

耐震診断をできるだけ速やかに行いたい。

課長 上陽支所と星野支所については近隣施設との集約化や複合化とともに耐震化を検討する。

指定管理者制度の運用について



河川内の倒木

日本、地震大国。地震も、大規模な地震も、日本でも頻りに発生している。

災害等非常事態下の避難所における 停電対策は

市長 市の避難所に発電機と、黒木・矢部・星野支所に電気自動車を配備している

映像配信
サイト



水町典子
みずまちなりこ

議員 本庁の停電対応は、非常用発電設備は72時間使用可能。燃料補給し7日間連続使用可能。
議員 自主防災組織支援整備事業の実績は。
課長 令和5年度は土嚢作成等訓練17件、発電機等資機材購入14件、地区防災計画策定4件である。
議員 住宅用蓄電池補助金事業の実績は。
課長 自然エネルギーを有効活用し地球温暖化対策として蓄電池等購入時に補助を行う事業。令和3年からの3年間で実績は53台となった。
議員 諸事情から避難所生活への物理的、心理的



自転車で転倒する人

負担が大きい場合、自宅での避難に役立つポータブル電源の購入に補助がでないか。
課長 研究していく。
議員 自転車走行時のマナー向上と安全確保について
議員 ヘルメットの着用率は。
課長 昨年7月調査で、県内10%、筑後地区14%。
議員 ヘルメット購入に補助を行う考えは。
課長 今後研究していく。
議員 市長のお考えは。
市長 次の市長にしっかりと伝え、副市長にも前向きに考えるようお願いする。
議員 自転車事故で亡くなれた方に頭部に致命傷を負っています。
※ポータブル電源
内臓バッテリーに蓄電し、外部機器に給電できる持ち運び可能な大容量バッテリー装置のこと。

中山間地域の人口減少対策及び経済対策 (企業誘致・観光事業)の進捗状況は

市長 地域資源を活かした人口減少対策、経済活性化対策に取り組んでいる

映像配信
サイト



石橋義博
いしばしよしひろ

議員 中山間地域の人口減少対策はどうなっているのか。
部長 検討状況との前提で、空き家や耕作放棄地を活用した滞在型の農園整備事業、住宅新築補助の増額、地域おこし協力隊事業等を考えている。
議員 黒木町の伝建地区で改修等を行う際の規制をやめ、新しい試みで活性化を目指すのか、継続して活性化を目指すのか。
課長 伝建地区の条件を満たすための改修方法等を専門家に相談している。また、情報発信の取り組みも担当部署等と連携して行っていく。
議員 企業誘致の現状は。
課長 前古賀工業団地では、ヤマエGHDと所有移転の登記が完了している。また、若い世代にも魅力のある企業訪問を積極的に行い、企業誘致に取り組んでいる。
議員 観光事業は、観光農園とも連携し取り組んでいる。
課長 農産物のPRにも力を入れて進めていく。
議員 プレミアム付商品券の配布は、高齢者や生活困窮者にも扱いやすいか。
課長 高齢者へのスマホ等の相談会を行っている。引き続き対策をしていく。



黒木の町並み

公共施設の今後の取り組みについて

教育長

公共建築物保有量を延べ床面積で40%削減が目標

映像配信
サイト



川 かわ
口 ぐち
堅 かた
志 し

- 議員** 現在、未使用の施設があると推測するが、市所有の施設等がどのような状況にあるのか。
- 課長** 行政財産から普通財産に変わったものを限定して貸し出しを行っている。
- 議員** 現行の建築基準に満たさず、利用不可能で危険な建物の数はどの程度あるのか。
- 課長** 4施設(※)は、昭和56年度以降の新耐震基準建築施設であり、利用可能な施設である。
- 議員** 利用可能な施設の今後の計画はあるのか。
- 課長** 集約化や廃止、地元譲渡なども検討している。必要があると考えている。
- 議員** 地域ごとの斎場の状況は。
- 課長** 旧黒木町、旧上陽町、旧星野村、旧矢部村で4カ所、旧八女市、旧立花町で1カ所の合計で5カ所ある。最も古い黒木斎場が52年経過している。
- 議員** 旧黒木町、旧上陽町、旧星野村、旧矢部村の八女市4斎場の統合計画は、どうなっているのか。
- 課長** 八女市4斎場の統合整備と同時に八女西部斎場も整備の打診がある。シミュレーションを行い検討していく。



黒木斎場

八女市のDX推進及び庁舎内の取り組みは

市長

ICT(情報通信技術)を活用した業務の最適化、事務の効率化に努めている

映像配信
サイト



花 はな
下 した
主 ある
茂 も

- 議員** DX推進の具体的な取り組みは。
- 室長** 入力作業などを自動的に処理するアプリや議事録作成でのAI活用、ビジネスチャットなどを活用している。
- 議員** 市内間転居に伴う各種届出による住所変更について、届出不要化を実現してほしい。DX推進の大きな障壁にアナログ規制があるが考えは。
- 副市長** まずはスマート窓口をしっかりと稼働させ、国の動向を見ながら何を先に取り組むべきかを考えていきたい。
- 議員** 利権道路ではない
- 国道3号バイパスについて**
- ※DX(デジタルトランスフォーメーション)
デジタル技術を活用し、生活や仕事をより便利で効率的にするための変革を進めること。
- デジタルで解決できることはデジタルに任せ、人的資源は福祉などの「人のぬくもり」が必要な分野に再配置できよう進めていただきたい!
- 市長** あらゆる角度から検討して、建設の段階に入ったところであり、将来に大きく役に立つバイパスになってほしいと願う。ご理解いただきたい。
- 議員** 市役所のDX推進の具体的な取り組みは。
- 市長** 市役所のDX推進の具体的な取り組みは、市長の思いとともに、これまでの経緯を地元住民に直接説明する考えは。

	アナログ規制の例	デジタル技術を使った見直し
目視規制 実地監視	河川やダム、公園を管理する際は、現場で人の目に頼った点検が基本	ドローンや水中ロボットなどを活用
定期検査	消火器具、自動火災報知設備等の定期点検	常時監視機能で自動化
常駐専任	介護サービス事業所には常に管理者が常駐	テレワークを容認
書面掲示 対面講習 往訪閲覧	建築時の許可申請時に役所に行って書類を閲覧するなど、公的な手続きには対面が原則	役所に行かなくても電子システムで閲覧可能に

デジタル化やデジタル技術の活用を阻害するアナログ的な手法を前提としたものを、(条例改正等で)簡素化・効率化することで、住民・職員ともに負担軽減を図ることができる。

ごみ問題に対しての方向性は

市長 何よりも市民の皆さんの意識を高めることが基本である

映像配信
サイト



高橋 信 広
たかはし のぶひろ

これで生ごみの悩み解決
議員 ミニ・キエーロモデル事業の具体的な取り組み状況は。
課長 臭いも虫もほとんど発生しない魔法のような生ごみ処理システムである。令和5年度より八女農業高校と連携し、黒土に竹粉を混ぜたものやEM菌を入れたもの等6区の試験区で調査を行っている。経過として、名前のとおり生ごみが消えることが分かり驚いている。

ミニ・キエーロの研究に協力している八女農業高校の生徒
①サイズ：W50cm×D30cm×H35cm
②土中の生ごみは7日程度で消える



る。令和6年度は、20世帯にモニター事業として配布し、現在調査している。

議員 幅広い研究を重ねた上で、経済的効果を含めて事業化できないか。
課長 どういう経済効果になるかを、庁内で連携して調査を進めたい。

帯状疱疹ワクチンに期待

議員 国は、定期接種にすることを具体的に検討しているが、市の考えは。
部長 国の動向として、近い将来に定期接種の方向性があり、実施できる段階では、スムーズに接種ができるよう関係機関と協議したい。

不思議だなーで「キエーロ」が本当に生ごみが消えた!?これなら誰でも続けられる。

※ミニ・キエーロ生ごみを処理するための容器で、中に入れた黒土に生ごみを混ぜて埋めると、微生物が生ごみを分解します。

矢部川堤防強化に向けた取り組みは、どう進んでいるのか

市長 県に要望書を提出し、前向きに検討されている

映像配信
サイト



古賀 邦彦
こが くにひこ

南海トラフ地震について
議員 南海トラフ地震における八女市の被害想定はあるのか。
市長 水縄（みのう）断層の被害想定をしている。
課長 県は今年度中に南海トラフ地震、水縄断層等での想定される被害調査を実施し、防災計画への反映がなされるため、八女市でも改定作業を実施する。
災害用井戸について
議員 災害時の生活用水確保のため、地域防災計画に災害用井戸の利用を加えるべきでは。



増水時の矢部川

市長 必要に応じて計画見直しを行う。
18歳までの医療費無償化についての考えは
議員 県内の4割を超す自治体で18歳までの医療費補助を実施している。子育て世帯への支援として踏み込んでもらいたい。

市長 本年10月からの中学生世代までの医療費無償化の効果検証を行う。
小中学校給食の現状は
議員 物価高騰の中、子どもたちへの栄養の確保は十分にできているのか。

教育長 必要な栄養素がしっかりと含まれるよう食材の調整を図っており、栄養摂取が確保されている。

地球規模の温暖化の中で、各地で紛争が絶えない。戦争などではない。

ドローンを活用した有害鳥獣対策についてどのように考えているか

課長

先進地を参考にしながら、猟友会の狩猟の経験と知恵を活かし研究する

映像配信
サイト



たか
やま
まさ
ひろ
高山
正
信

定例会

委員会審査

一般質問

活動報告

意見交換会

採決結果

議員

まちづくりについて

立花町光友地区の

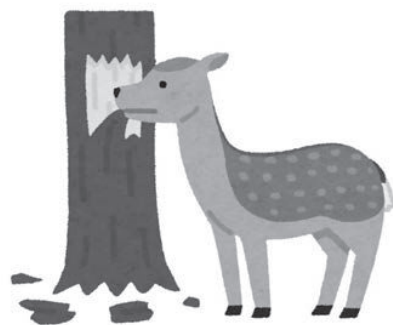
土地利用計画の推

課長 有害鳥獣被害は耕作放棄地増加を非常に加速させる深刻な問題である。今後、有効的な有害鳥獣対策、各種補助事業等の調査研究を行う。

議員 有害鳥獣被害により、耕作意欲の低下につながっているが、どのように考えているか。

課長 令和3年度までは10頭前後で推移していたが、令和4年度は37頭、令和5年度は226頭が捕獲され、激増している。

議員 有害鳥獣被害により、耕作意欲の低下につながっているが、どのように考えているか。



課長 地域活性化という方向性を固める上で、地域の声に耳を傾けていく必要がある。学校と地域活性を総合的に考え、今後、進捗状況など、時期を見て地元関係者の方と調整をしていきたい。

議員 推進で重要なのは、地元の意向だと思うが、今後、地元関係者などとの話し合いの予定は。

課長 不動産業界、スパー業界などへ直接聞き取り調査を行い、土地利用の可能性を探っている。

議員 進んでいると聞くが、捕獲状況は。

まちのコイン制度の評価と今後の計画は

市長

地域のつながりづくり等に一定の成果がでている、次年度以降は検討する

映像配信
サイト



さか
もと
じろ
坂本
治
郎

議員

地域おこし協力隊制度について

募集人数に対する応募人数の推移は、おおよそ1倍から2倍の倍率である。応募状況は2名に応募いただいたが、合格者はいない。

市長 令和元年度以降の募集人数に対する応募人数の推移は、おおよそ1倍から2倍の倍率である。応募状況は2名に応募いただいたが、合格者はいない。

議員 地域おこし協力隊の採用倍率と現在の募集に対する応募状況は。

市長 募集事業の企画段階から地域のニーズをくみ取りつつ、隊員の活躍の場を確保できるように取り組んでいる。

議員 地域おこし協力隊の採用に当たり重視している点は。



議員 地域おこし協力隊の制度や、着任する隊員に関して、地域住民への説明はどうしているのか。

市長 隊員が着任した際は、配属部署の担当者とともに関係者への紹介や活動内容の説明を行っている。

議員 地域おこし協力隊の拡充予定は。

市長 任用については、各課や各支所において地域の課題や要望を聞き、地域おこし協力隊制度を活用することで地域活性化につながると判断できる場合、必要な措置を講じていきたいと考える。

総務文教常任委員会の活動報告 令和6年8月7日 筑紫野市議会のハラスメント防止条例を調査

地方議員や自治体職員におけるハラスメント被害をなくすため市町村議会がハラスメント防止条例を制定する動きが広がっています。

よる組織も構築されていきました。

調査を終えて

八女市議会においても、できるだけ早急にハラスメント防止根絶のため議論を深めてまいります。

(服部 良一)

地方自治法に定める百条委員会も設置できるので特別に条例を作らなくても対応することは可能と考えますが、筑紫野市議会ではより信頼される議会にしたいという思いで条例を制定しているとの説明がありました。

条例案の作成に当たっては政策立案を担う「議会図書室委員会」において行われ条例案を練り上げられました。条例の主な内容は、①議会内における議員間のハラスメント②議員の地位を利用した市職員に対するハラスメントでありました。なお事実関係の調査、公平性などを確保する観点から議会に



筑紫野市役所での視察

厚生常任委員会の活動報告 令和6年7月17日 悪臭防止に向けた取り組みの現状を調査

平成15年に操業を開始し、主に産業廃棄物処理業を営む「うすま・ふあーおぱーく(株)」では、1日に50トン強の廃棄物を集荷し、堆積と発酵を繰り返すことで有機質肥料の製造を行なっています。

通常の堆肥工場では、堆肥の発酵に新鮮な空気を取り入れるため、初期発酵にかかる温度上昇に時間を要します。うすま・ふあーおぱーくでは工場内気循環システムを構築し、発酵で発生する熱を再利用することで効率的に稼働させています。しかし、作業工程において臭気が発生することから、悪臭問題解決に関する要望書等が提出されていきました。市としても、これまでに複数回にわたり「悪臭防止法に基づく改善勧告」を行なっています。そのような背景から、当厚生常任委員会では定期的に現地調査を行なってきました。現在では業務改善や施設設備の改良、定期的な住民との対話なども行わ

れ、県や市の定期検査にもクリアしています。実際に合羽と長靴を着用して行った施設内調査では、アンモニア等の発生で強い臭気を感じましたが、一歩施設の外に出ると特段臭気を感じることもなく、適切な処理がなされているものと認識しました。

2年前に代表取締役が交代しましたが、地元の方には「いつでも見学においで下さい」とお伝えされており、今後更に住民に開かれた場所にしていくという姿勢も感じられました。

調査を終えて

臭気は目に見えませんが、周辺住民にとっては生活に関わるほどの大きな問題です。これまでの経緯の中で、悪臭防止に向けた取り組みや改善については評価するとともに、環境問題全般に関して県ともしっかりと連携を図りながら引き続き注視していきます。

(花下 主茂)

市民と議会の 意見交換会

＼あなたの声をお聞かせください／

申込不要



旧八女

開催日：11月12日(火)
時 間：19時～
会 場：おりなす八女はちひめホール

上陽

開催日：11月13日(水)
時 間：19時～
会 場：農業活性化センター

黒木

開催日：11月15日(金)
時 間：19時～
会 場：黒木支所大会議室

立花

開催日：11月20日(水)
時 間：19時～
会 場：立花公民館イベントホール

星野

開催日：11月22日(金)
時 間：19時～
会 場：星野支所大会議室

矢部

開催日：11月22日(金)
時 間：19時～
会 場：矢部公民館

黒木・星野

◎高山 正信
●坂本 治郎
栗山 徹雄
栗原 吉平
牛島 孝之
田中 栄一
古賀 邦彦

旧八女・上陽

◎三角 真弓
●高橋 信広
森 茂生
堤 康幸
川口 堅志
原田 英雄
花下 主茂

立花・矢部

◎小山 和也
●川口 誠二
中島 信二
服部 良一
石橋 義博
久間 寿紀
水町 典子

◎は班長 ●は副班長

9月定例会 採決結果一覧

議案番号	議案名	採決結果
議案第49号	専決処分について（令和6年度八女市一般会計補正予算(第3号)）	承認（全会）
議案第50号	八女市矢部診療所の診療費及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全会）
議案第51号	八女市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決（多数）
議案第52号	八女市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全会）
議案第53号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決（全会）
議案第54号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決（全会）
議案第55号	市道路線の認定について	可決（全会）
議案第56号	市道路線の変更について	可決（全会）
議案第57号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	可決（多数）
議案第58号	令和5年度八女市下水道事業会計決算剰余金の処分について	可決（全会）
議案第59号	令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)	可決（全会）
議案第60号	令和6年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決（全会）
議案第61号	八女市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全会）
認定第1号	令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
認定第2号	令和5年度八女市水道事業会計決算認定について	認定（全会）
認定第3号	令和5年度八女市下水道事業会計決算認定について	認定（全会）
人権擁護委員候補者の推薦について ＜樋口京子氏を適任と認める＞		

は賛否が分かれた議案です

定例会

委員会審査

一般質問

活動報告

意見交換会

採決結果

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：議長 議長は採決に 加わりません	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	高橋	花下	坂本	水町	古賀	久間	原田	小山	高山	川口	田中	堤	石橋	牛島	服部	中島	栗原	三角	森	栗山	川口	橋本
	信広	主茂	治郎	典子	邦彦	寿紀	英雄	和也	正信	堅志	栄一	康幸	義博	孝之	良一	信二	吉平	真弓	茂生	徹雄	誠二	正敏
議案第 5 1 号	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 5 7 号	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第 1 号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—

9月定例会 報告事項

報告第 9 号	専決処分について(事故による損害賠償)
報告第 1 0 号	専決処分について(事故による損害賠償)
報告第 1 1 号	株式会社クリエイトやべの令和 5 年度決算及び令和 6 年度事業の計画の報告について
報告第 1 2 号	一般財団法人星のふるさとの令和 5 年度決算及び令和 6 年度事業の計画の報告について
報告第 1 3 号	一般財団法人秘境柚の里の令和 5 年度決算及び令和 6 年度事業の計画の報告について
報告第 1 4 号	一般財団法人 F M 八女の令和 5 年度決算及び令和 6 年度事業の計画の報告について
報告第 1 5 号	令和 5 年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

※報告事項のため採決はありません。



議会を傍聴されたみなさんの声をご紹介します。

○各議員の質問・要望に対し、市側の答弁が明確でなく、理解が難しい。

○議場のデザインが素晴らしいと思いました。

聞いてきました まちの声

表紙によせて
VOL18

矢部川漁業協同組合八女東部愛好会

会長 原口 政恒 さん
はらぐち まさつね



今回は、自然豊かな矢部川や星野川等の川を守るための活動をしている矢部川漁業協同組合八女東部愛好会の原口政恒さんに、黒木町の鮎祭りや日頃の活動について、お話を伺いました。

漁業協同組合・愛好会の活動内容を教えてください。

矢部川と星野川の清流を維持するため、定期的に河川の清掃を行い、年間を通して稚魚（ウナギ、スッポン、鮎、ハヤ、カニ）を放流しています。また、上陽町の山林（矢部川源流の森）を購入し、「山」「川」「海」を一体的にとらえ植樹等の活動を通じて森の機能を保全し、環境を守っています。

鮎祭りはどんなお祭りですか？

黒木町の藤棚の下で50年以上続くお祭りです。鮎の塩焼きや鯉のあらいを提供しています。各漁業協同組合や愛好会の振興にご協力いただいた皆様に感謝をお伝えし、各機関の方やご来場いただいた方と絆を深めるために毎年お祭りを行っています。

これからの目標をお聞かせください。

魚道の確保や環境保全を進め、漁獲量を増やしたいです。また、八女の魚の種類や美味しさを知ってもらうことや子どもたちが楽しく遊べる場所の整備をしていきたいです。

河川を守るために協力してほしいことは？

川で物を燃やさないこと。遊びに来た際にごみの片付けをし、川をきれいに使ってほしいです。

議会に対してのメッセージをお願いします。

河川に降りるための道路整備をお願いします。未来の子どもたちにきれいな川を残せるように頑張ります。

編集後記

11月の和名は「霜月」です。

霜月の朝、真っ白に輝くあぜ道に立ち並ぶ霜柱を見つけると、幼い頃の私は両手をズボンのポケットに入れ、背中を丸めながら歩きました。霜を踏むたびに、サクツ、サクツと音が響き、その度に心が踊ったものです。この音は通学路の朝の恒例行事であり、その感触は楽しさを感じさせるものでした。

立冬を過ぎると、木枯らしが吹き、紅葉が深まる中で、自然が冬の装いを始めます。日中の陽だまりが暖かく感じられる一方で、夜は冷気が増し、星空が一層澄んで見える季節となります。

皆様、どうぞお体を大切にされ、健やかにお過ごしください。

（原田 英雄）

議会を傍聴しませんか？

次回定例会11月27日（水） 予定
八女市役所4階議場
午前10時から

※日程は変更となる場合があります。

議会中継はこちらの二次元コードからご覧いただけます。



「議会インターネット中継」をクリック

発行責任者

議長 橋本 正敏

広報委員会

委員長 古賀 邦彦

副委員長 水町 典子

委員 服部 良一

委員 高山 正信

委員 小山 和也

委員 原田 英雄

委員 久間 寿紀

委員 坂本 治郎

委員 花下 主茂